授業科目	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（医療領域）					実務家教員担当科目	－
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	通年
担当教員	岡田　和敏、中川　美幸、山本　佳代子						
授業概要	ソーシャルワーク実習及びソーシャルワーク実習指導の目的と意義、実習に臨むにあたっての姿勢・心構えについて説明する。実習分野と実習施設、クライエントに関する基本的理解を深める。ソーシャルワークの実践で必要とされる知識・技術について講義や演習で学んだことを整理し、実習施設で行われるソーシャルワーク実践にあてはめて理解を深める。実習に向けた具体的な手続き、各種書類の作成、事前訪問の方法、実習先でのマナーや態度、総括レポートについて説明し、実践する。また、実習中は、巡回による指導を行う。実習後は個別指導・集団指導を通して、実習体験を概念や理論に関連づけつつ振り返り、自己の学びと課題を整理する。この授業は、医療、高齢者、地域、障害者、障害児、児童福祉の各実習領域に分かれ、各担当の教員の下で授業を行う。						
授業形態	講義、演習				授業方法	グループワーク、プレゼンテーション	

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．ソーシャルワーク実習に向けての準備・手続きを実行できる。 2．社会福祉士として求められる役割と価値と倫理の基づく専門職としての姿勢を理解している。 3．ソーシャルワークを実践するための基礎的な能力を身につけている。 4．実習を振り返り、学びの内容と自己の課題を述べることができる。
理想的レベル	1．ソーシャルワーク実習に向けての準備・手続きを実行し、主体的に事前学習に取り組む。 2．社会福祉士として求められる役割を理解し、価値と倫理に基づく専門職としての姿勢を身につけている。 3．ソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し、ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を習得している。 4．実習を振り返り、実習で得た具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し体系立て、自己の課題を把握し、改善に向けた取り組みを実行することができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	30%	
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物	20%	
その他	50%	授業中の発言や事前事後学習に主体的かつ積極的に取り組む姿勢などにより評価する。

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	－	DP2	－	DP3	－	DP4	－	DP5	－	ナンバリング	WE21231J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
当該テーマについての自己学習	4

授業計画	
第１回	【オリエンテーション・ソーシャルワークの価値と倫理に基づく専門職としての姿勢】 ソーシャルワーク実習の意義・目的、授業内容、日程、受講のルール等について説明するとともに、社会福祉士として求められる役割、価値と倫理に基づく専門職としての姿勢について説明する。 高齢者・地域領域：荒木 障害者領域：通山 児童・障害児領域：文屋 医療領域：岡田・中川・山本
第２回	【実習施設・利用者に関する基本的理解】 実習施設の目的や機能、利用者の特性・ニーズについて理解を深める 高齢者・地域領域：荒木 障害者領域：通山 児童・障害児領域：文屋 医療領域：岡田・中川・山本
第３回	【実習施設・利用者に関する基本的理解】 実習施設の目的や機能、利用者の特性・ニーズについて理解を深める 高齢者・地域領域：荒木 障害者領域：通山 児童・障害児領域：文屋 医療領域：岡田・中川・山本
第４回	【実習に必要な書類の作成】 実習生紹介票、実習計画書等の作成について個別指導を行う。 高齢者・地域領域：荒木 障害者領域：通山 児童・障害児領域：文屋 医療領域：岡田・中川・山本
第５回	【実習に必要な書類の作成】 実習生紹介票、実習計画書等の作成について個別指導を行う。 高齢者・地域領域：荒木 障害者領域：通山 児童・障害児領域：文屋 医療領域：岡田・中川・山本
第６回	【事前訪問・見学実習について】 事前訪問・見学実習の目的、方法、注意事項について説明する。 高齢者・地域領域：荒木 障害者領域：通山 児童・障害児領域：文屋 医療領域：岡田・中川・山本
第７回	【実習日誌について】

	実習日誌の意義・目的、日誌の管理、プライバシー保護を念頭に置いた記入の方法について説明する。 高齢者・地域領域：荒木 障害者領域：通山 児童・障害児領域：文屋 医療領域：岡田・中川・山本
第 8 回	【実習日誌について】 実習日誌の記入内容、記入方法について実践的に理解する。 高齢者・地域領域：荒木 障害者領域：通山 児童・障害児領域：文屋 医療領域：岡田・中川・山本
第 9 回	【実習で必要となる知識・技術について】 実習で必要となる知識・支援技術について理解する。 高齢者・地域領域：荒木 障害者領域：通山 児童・障害児領域：文屋 医療領域：岡田・中川・山本
第 10 回	【実習で必要となる知識・技術について】 実習で必要となる知識・支援技術、他の職種の専門性や業務について理解する。 高齢者・地域領域：荒木 障害者領域：通山 児童・障害児領域：文屋 医療領域：岡田・中川・山本
第 11 回	【実習前の最終確認】 実習に臨むにあたっての心構え、確認事項、注意事項等について最終確認を行う。 高齢者・地域領域：荒木 障害者領域：通山 児童・障害児領域：文屋 医療領域：岡田・中川・山本
第 12 回	【実習の振り返り】 個別面談による実習の振り返り、実習体験や実習記録を踏まえた課題の整理、レポートの作成を行う。 高齢者・地域領域：荒木 障害者領域：通山 児童・障害児領域：文屋 医療領域：岡田・中川・山本
第 13 回	【実習の振り返り】 個別面談による実習の振り返り、実習体験や実習記録を踏まえた課題の整理、レポートの作成を行う。 高齢者・地域領域：荒木

	障害者領域：通山 児童・障害児領域：文屋 医療領域：岡田・中川・山本
第 14 回	【領域別報告会】 実習領域ごとに実習を通しての学び・課題・反省を報告し、各自の学びと課題の整理を行う。 高齢者・地域領域：荒木 障害者領域：通山 児童・障害児領域：文屋 医療領域：岡田・中川・山本
第 15 回	【領域別報告会】 実習領域ごとに実習を通しての学び・課題・反省を報告し、各自の学びと課題の整理を行う。 高齢者・地域領域：荒木 障害者領域：通山 児童・障害児領域：文屋 医療領域：岡田・中川・山本
テキスト	「ソーシャルワーク実習マニュアル」西南女学院大学　保健福祉学部福祉学科
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書：最新社会福祉士養成講座　８ 「ソーシャルワーク実習指導　ソーシャルワーク実習　［社会専門］」 中央法規
課題に対するフィードバックの方法	実習に関する書類や提出物等は毎回添削を行い、実習レポートにはコメントをつけて返却します。
学生へのメッセージ・コメント	実習領域に関連する福祉専門科目やソーシャルワーク演習で学んだ内容が実習で知識や技術を習得する力の基礎となります。 事前学習に取り組む中で、関連科目の復習も積極的に行いましょう。